初めてご使用になる前に

ペトロカッター

必ず、取扱説明書を全て読んでから、セットしてください。

◎　従来のアセチレンやプロパンとの違い

① 逆火しない（火口内のみ）・タンクは爆発しない

② バーナーの各バルブの位置が違う

③ 着火・消火の順番が違う

着火：　予熱酸素ﾊﾞﾙﾌﾞ　→　ガソリンﾊﾞﾙﾌﾞ　→　着火　調整

消火：　高圧酸素ﾊﾞﾙﾌﾞ　→　ガソリンﾊﾞﾙﾌﾞ　→　予熱酸素ﾊﾞﾙﾌﾞ　→　消火

（予熱酸素ﾊﾞﾙﾌﾞから閉めると火口内逆火して内部を傷めます）

④ ガソリンは、重い液体である事・加圧していない事から

バーナーを上に持上げた時は、ガソリンを余分に出す

下げた時は、絞って調整する。３ｍ以上は、タンクを移動する他

⑤ カロリーが、アセチレンの４倍、プロパンの２倍

温める時は炎心を近づけて（火口の位置に注意　取説参照）、

最初の高圧酸素は、強めに（1 回転近く）出して飛ばす

切り始めたら、ゆっくりと鉄板から離して（１～１．５㎝）早めに切り進む

（　離せば火口の保護になり、近づけ過ぎは火口先端を溶かす　）

亜鉛引きもの・サビものにハネが少ない、厚板が楽に切れる

◎ 初めてセットし、使用される時の注意

ペトロカッターのシステムは、予熱酸素の流れを利用して、液体ガソリンをトーチの先端まで引き込む方法なので、最初にホース内にガソリンを満たす必要があります。ですから、ガソリンタンクのバルブは全開にし、給油口の蓋をゆるめて、外気が入りガソリンがスムーズに流れるようにしてください。

① 最初に、高圧酸素バルブを５秒以上開けて、酸素ラインをきれいにします。

② 次に予熱酸素で、ガソリンを引き込みます。（ホース内をガソリンだけにします）この時、予熱酸素バルブを９０度程度開き、次にガソリンバルブを開け、火口の先端かにガソリンミストが出るまで待ちます。

③ ライター炎やスパーカー火花を火口先端に近づけ、出てきたミストに点火します。

④ 着火したら、ゆっくりとガソリンを出し、交互に予熱酸素を出して調整します。

初めての時は、ガソリンホース内に気泡が残っていたり、火口が冷えていると０ぱちぱちと不安定な炎が続くことがありますが、しばらくすると安定します。この時、火口の先端を鋼材に斜めに当てて、輻射熱で温めることも出来ます。

⑤ 調整炎は、その中心に３～５ｍｍ位の王冠状の炎心が出来るようにします。炎心が出来ても、赤い炎がある場合は予熱酸素やガソリンで調整して下さい。

(有)ヨコカワコーポレーション　℡０４５－６２９－３７８０